

このコーナーでは、「私の好きな白河の景観50選」にご応募いただいたもののなかから、毎月1か所を皆さんにご紹介しています。



池のほとりから見る鶴ヶ池自然公園

豊かな水をたたえた鶴ヶ池は、東地域小野田地区にあります。池のほとりに植えられた松や雑木が気持ちのいい空間を作りだし、これらが調和した景観が見事な眺めを提供してくれています。家族連れにも人気で、散策には最適なところです。ぜひ立ち寄ってみてください。

ふるさとの風景を描こう

～いつだって心に残る風景がある～



募集しています「私の好きな白河の景観50選」

「私の好きな白河の景観50選」は、本市の魅力ある景観づくりを進めるために、皆さんの身近にある景観の情報をお寄せいただくものです。応募用紙は、市ホームページからもダウンロードできます。

こんなところから景観まちづくりを進めています

本市では、歴史ある白河の景観に配慮し、看板などの公共サインを設置する際には、基調色・ブラウン（こげ茶色・マンセル値10YR3/1及びその近似色）を使用して、景観に調和したまちづくりを進めています。

本庁舎都市計画課 ☎01111 内2288

私のイチ押し



寺嶋鉄太郎さん
(白井掛)

イチ押し作品を募集

このコーナーでは、皆さんの自慢の作品を募集しています。本庁舎秘書広報課までご連絡ください。

武蔵野美術大学彫刻科を卒業後、中学校の美術教師になりましたが、授業や部活などが忙しく、彫刻を制作できる時間はありませんでした。退職後、大信公民館を会場として始めた「彫塑クラブ」で、本格的に制作を開始しました。第73回河北美術展では流れる水を静かに眺める女性を表現した「泉石」が「東北放送賞」を受賞しましたが、自分のテーマやスタイルの確立はまだ手探り状態です。等身大の作品を制作する傍ら、粘土を素焼きして仕上げるテラコッタ彫刻などにも挑戦しながら、自身の可能性を探っているところです。

今回ご紹介する作品は、テラコッタ彫刻の「赤い服」です。乙女らしい若々しさを赤い服で象徴したもので、意図的に荒く仕上げました。

今後は、公募展などの出展のほか、市内の文化遺産のオリジナルスタンプの作製のように、美術の面で、少しでもまちづくりに貢献できればと考えています。



テラコッタ彫刻
『赤い服』 高さ 40cm